



物流施設「DRE 小牧センター」 DBJ Green Building 認証（ロジスティクス版） 【Gold2013】 および 【Silver 2013】 の取得について

日本土地建物株式会社（東京都千代田区霞が関1-4-1、代表取締役社長 吉田卓郎）が所有する物流施設「DRE小牧センター」が、2013年7月26日、日本政策投資銀行（代表取締役社長 橋本徹、以下「DBJ」という）によるDBJ Green Building認証（ロジスティクス版）において、2号棟が「Gold2013」、3号棟が「Silver2013」を取得しました。

DBJ Green Building認証については、当社はこれまでオフィス版で、「有明セントラルタワー」「日土地虎ノ門ビル」「日土地山下町ビル」「仙台ファーストタワー」「京橋イーストビル」「日土地京都四条通ビル」の合計6棟で認証を取得しております。ロジスティクス版での取得は、今回が初めてとなります。

今回の認証では、以下の点が高く評価されました。

- (1) 大規模太陽光発電パネルを設置することで93.5万kWh（一般家庭約270世帯分）の電気をまかなうことが可能な点。
- (2) 「DRE小牧センター2号棟」については構内LED照明の採用も併せて行うなど、省エネルギーに関する多様な取り組みを行っている点。

今回認証した2物件は、当社が物流システムのリーディングカンパニーである㈱ダイフクの保有する工場跡地を借地して、物流施設を建設し賃貸事業を行っているものであり、CRE戦略に基づくソリューションと再生可能エネルギーへの取り組みとを重ね合わせたものとなっています。

太陽光発電施設に関しては、物流施設の屋根に出力830キロワット級の太陽光発電パネルを設置しており、発電した電気は中部電力に全量売電しています。



□ 物件詳細について

<p>物件名</p>	<p>DRE 小牧センター 2号棟</p> 	<p>DRE 小牧センター 3号棟</p> 
<p>DBJ Green Building</p>	<p>極めて優れた「環境・社会への配慮」がなされたビル</p> 	<p>非常に優れた「環境・社会への配慮」がなされたビル</p> 
<p>所在地</p>	<p>愛知県小牧市小牧原4丁目 103, 111</p>	
<p>敷地面積</p>	<p>48,288.68 m²</p>	
<p>延床面積</p>	<p>27,272.86 m²</p>	<p>16,473.33 m²</p>
<p>竣工</p>	<p>平成20年10月</p>	<p>平成20年8月</p>
<p>規模</p>	<p>地上4階</p>	<p>地上4階</p>

- 「DBJ Green Building 認証」は、2011年4月に、DBJにより創設された制度で、ビル環境、防災、防犯、及び社会的要請、時代の要請に応えた優れた不動産を選定・認証するものです。当初は、認証の対象がオフィスビルに限定されていましたが、2012年8月に物流施設を対象とした「ロジスティクス版」が創設されました

□ 【ご参考】日土地グループの環境対策について

日土地グループは、経営方針の一つに「企業活動を通じて社会に貢献する」という理念を掲げており、早くから環境問題に取り組んできました。

2010年11月には、環境対応を積極的に推進するための専担部署として、「環境対策推進室」を新設。新築ビル、既存ビル、住宅、自社使用オフィスなど様々な分野での環境対策に取り組んでいます。

経済産業省・資源エネルギー庁主催「ビルの省エネルギー推進表彰制度」においては、2009年、2010年の2年連続で、本社である「日土地ビル」が「省エネルギー管理優良ビル」として表彰を受けました。

また、ビルエネルギー消費量の6～8割を占めるといわれるテナント企業様との協働による省エネを推進しており、テナント企業様との環境対策推進会議や環境に関する講演会・勉強会を開催。2009年には、テナント企業様への省エネの啓蒙活動の一つとして「省エネアイデアコンテスト」も実施いたしました。

更に、「コンバージョン」（用途変換によって不動産を再生させる建築手法。廃材を削減し、環境に優しい建築）を推進しており、オフィスビルを賃貸マンションへコンバージョンした「ラティス青山」「ラティス芝浦」「ラティス三宮」を始め、5件のコンバージョンを手がけました。

今後も「社会、人、環境、そして時代に優しく共存する」をテーマに、グループ全体でCO₂削減に取り組んでまいります。

以上

【お問い合わせ】

日本土地建物株式会社
経営統括部広報室 原

TEL 03-3501-6906 FAX 03-3506-8940